

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【公開番号】特開2012-228637(P2012-228637A)

【公開日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-049

【出願番号】特願2011-97106(P2011-97106)

【国際特許分類】

B 01 F 1/00 (2006.01)

B 01 F 5/06 (2006.01)

B 01 F 3/04 (2006.01)

A 61 H 33/02 (2006.01)

【F I】

B 01 F 1/00 B

B 01 F 5/06

B 01 F 3/04 A

A 61 H 33/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月31日(2013.12.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

先端にネジ部を備え、内側に流通路を備えた同心円状の嵌合筒を有する上部接続管と、下端にネジ部を備え、内側に流通路を備えた同心円状の二重筒を有する下部接続管と、前記上部接続管と前記下部接続管と連結して内側嵌合する直筒状の外管と、前記上部接続管の嵌合筒に嵌合する小径内管と該小径内管に連続してテーパ面を介して一体に形成された大径内管とを備え、前記小径内管のテーパ面側には多数の細孔が形成された、前記外管に内蔵される容器状の内管とから構成されることを特徴とする多目的ガス溶解装置。

【請求項2】

前記外管の内径と前記内管の大径内管の外径との間には隙間0.01~10mmが形成されることを特徴とする請求項1記載の多目的ガス溶解装置。

【請求項3】

前記大径内管の底面と前記下部接続管の上面との間に高さ空間100mmが形成される寸法となっていることを特徴とする請求項1記載の多目的ガス溶解装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の多目的ガス溶解装置は、先端にネジ部を備え、内側に流通路を備えた同心円状の嵌合筒を有する上部接続管と、下端にネジ部を備え、内側に流通路を備えた同心円状の二重筒を有する下部接続管と、前記上部接続管と前記下部接続管と連結して内側嵌合する

直筒状の外管と、前記上部接続管の嵌合筒に嵌合する小径内管と該小径内管に連続してテー^バ面を介して一体に形成された大径内管とを備え、前記小径内管のテー^バ面側には多数の細孔が形成された、前記外管に内蔵される容器状の内管とから構成される。

前記外管の内径と前記内管の大径内管の外径との間には隙間 0 . 0 1 ~ 1 0 m m が形成される。

前記大径内管の底面と前記下部接続管の上面との間に高さ空間 1 0 0 m m が形成される寸法となっている。